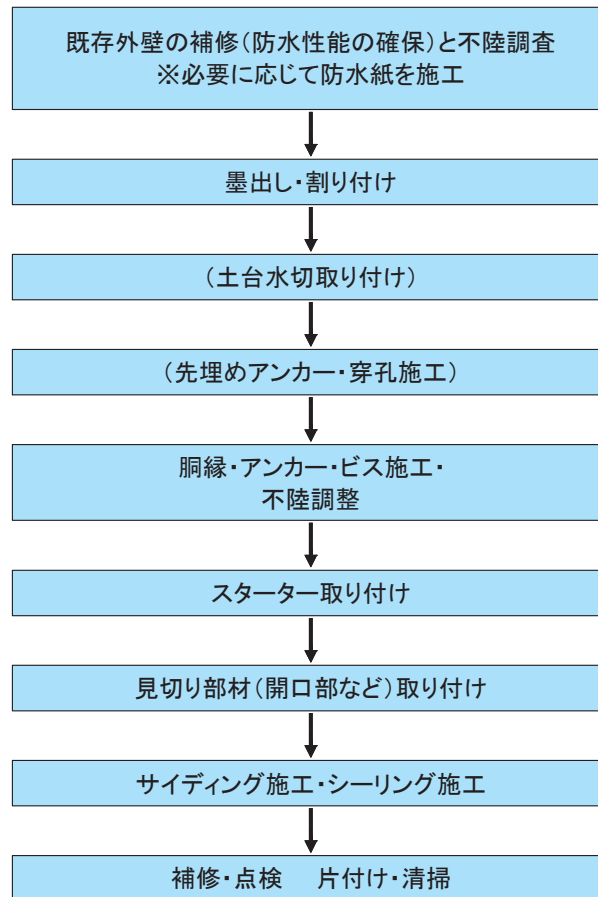


3 RC造 金属胴縁工法・木胴縁工法の標準施工

3-1 施工手順



3-2 既存壁の調整

1) クラックの補修方法

- 既存外壁の補修には、シーリング材や弾性系パテ材などを使用してください。
- 既存モルタルに「浮き」のある場合には、その部分を撤去してモルタルで補修してください。

2) 不陸の調整

- 既存壁の不陸が10mmを超える物件では本施工法の使用を避けてください。
- 不陸が10mm以下の場合は、不陸が3mm以下となるように市販のライナー(スペーサー)などを用いて調整してください。